

医療職者におけるキャリア継続のための職場環境に関する調査

～10年の変遷を経て～

この調査は主に女性医療人を対象に10年程前から取り組まれてきたキャリア支援に対して10年を経た現在、どのように変化してきたか女性医療人に限らず、男性医療人に対してもお尋ねするものです。皆様方のご意見を元に、働き方改革を推進するための基礎データとしても重要な調査となると考えます。

1. 調査研究について

多くの大学病院では、2007年ごろから女性医療職者が働きやすい職場環境をつくるための取り組みが続けられてきました。10年前に行った調査結果と比較し、この期間にどのように医療現場の働く環境が変わってきたのか、女性医療職者の健康や職場環境の検証と現在の状況を調査研究することになりました。

今回の研究の実施にあたっては、九州大学医系地区部局臨床研究倫理審査委員会の審査を経て、研究機関の長より許可を受けています。また、共同研究施設(佐賀大学医学部、福岡大学医学部、産業医科大学、久留米大学医学部)の各倫理委員会からも承認を受けております。この研究が許可されている期間は、2023年(令和5年)3月31日までです。

2. 研究の目的や意義について

我国の2016年の総医師数は約32万人中、女性医師は6.7万人(21%)です。医学部女子学生比率は1985年に20%を超え、現在34%になってきましたが、女性医師の比率は21%に留まったままです。我国では、医療現場に限らず長時間労働による心身への影響が指摘され様々な研究がみられますが、高度医療専門職者は人命を扱い、かつ自身が健康の専門家であるが故に、自身の健康や職場環境に関する労働衛生的視点での分析がなされていないという現状が続いています。九州大学病院は、2007年度文部科学省大学改革等推進事業に採択され「社会的ニーズに対応した質の高い医療人養成推進プログラム」において女性医療人支援プロジェクトを立ち上げました。久留米大学病院の「元気プロジェクト」、佐賀大学医学部の「バリュープロジェクト」も開始され、10年を経た現在、このような取組の評価時期でもあります。そこで、九州地区の大学病院を中心に、医療職の労働環境に対する意識を調査し、高度専門職者が就業継続しやすい労働条件を明らかにすることを目的として本研究を計画しました。本研究を行うことで、元々、離職・流動化しやすい女性が、高度な医療専門資格を有効に活用して就業を継続できる要因を探索し、明らかにすることは、少子超高齢社会が進む我国の様々な職場における「働き方」を考えていく上で非常に意義があり、応用可能であると考えています。

3. 研究の対象者について

九州大学病院、佐賀大学病院、久留米大学病院、福岡大学病院、産業医科大学病院に勤務する常勤・非常勤の男女を問わない医療職者約1,020名(九州大学病院:400人、佐賀大学病院:160人、久留米大学病院:180人、福岡大学病院:180人、産業医科大学病院:100人)を対象とさせていただき予定です。また、2008年に施行した先行研究のアンケート結果1237人分と比較する予定です。

4. 研究の方法について

アンケート調査は紙媒体あるいは、オンライン・データ集積管理システムでご回答いただく形式です。回答いただきました情報はデータ化した上で統計学的分析を行い、医療職者の背景や、健康状態の関係性を分析し、10年前の「医療人の健康と働きがい」に関する調査項目(職種、専門、教育歴、勤続年数、年齢、性別、婚姻・世帯状況、家事や介護の負担、健康情報：精神健康調査(General Health Questionnaire: GHQ)、主観的健康、生活習慣)と比較いたします。紙媒体の調査票で回答戴く場合には、記入戴いた調査票を同封の返信用封筒に封緘していただき、学内便で返信用封筒に印字されている研究分担者宛に送って下さい。貴施設の研究分担者に収集された後、九州大学の研究責任者にまとめて返送されます。

〔取得する情報〕

- ・基本項目：職種、専門、教育歴、勤続、年齢、性別、婚姻・世帯状況、雇用形態、経済状態
- ・職場環境の情報：勤務時間、職業性ストレス簡易調査票、努力—報酬不均衡モデル調査票
- ・健康情報：精神健康調査(General Health Questionnaire: GHQ)、主観的健康、生活習慣
- ・他者への意識：同職種異性就業者への考え、他職種について改善すべき労働条件・環境

九州大学、福岡女学院大学、札幌市立大学においてあなたの調査票の回答をデータ化したのち、詳しい解析を行う予定です。

5. 個人情報の取扱いについて

無記名回答であり、回答者を特定できない方法で調査を実施します。

今回の調査は九州大学が運営管理している九州大学アンケートサービスを用いるため、九州大学大学院医学研究院保健学部門HTMLコードを調べると上記のチェック用のID・パスワードがその中に示されます。そのため、なりすまし回答を完全に防止することはできませんが、回答された個人が特定されることはありませんのでご安心ください。ただし、個人や勤務先の特定につながる情報は入力されないようご注意ください。紙媒体で返信された場合も、なりすまし回答を防ぐ事はできませんが、アンケートの趣旨をご理解の上、ご本人がご回答戴きますようお願い申し上げます。

また、この研究の成果を発表する場合にも、研究対象者が特定できる情報を使用することはありません。あなたのアンケート回答結果を解析の際に他大学へ郵送する際には、九州大学にて上記のような処理をした後に行いますので、あなたを特定できる情報が外部に

送られることはありません。

この研究によって取得した情報は、九州大学大学院医学研究院保健学分野・教授・樗木晶子の責任の下、厳重な管理を行います。

6. 試料や情報の保管等について

〔情報について〕

この研究において得られた研究対象者の調査票情報等は原則としてこの研究のために使用し、研究終了後は、九州大学大学院医学研究院保健学分野において同分野教授・樗木晶子の責任の下、10年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

また、この研究で得られた研究対象者の試料や情報は、将来計画・実施される別の医学研究にとっても大変貴重なものとなる可能性があります。そこで、前述の期間を超えて保管し、将来新たに計画・実施される医学研究にも使用させていただきたいと考えています。その研究を行う場合には、改めてその研究計画を倫理委員会において審査し、承認された後に行います。

7. 利益相反について

久留米大学では、よりよい医療を社会に提供するために積極的に臨床研究を推進しています。そのための資金は公的資金以外に、企業や財団からの寄付や契約でまかなわれることもあります。医学研究の発展のために企業等との連携は必要不可欠なものとなっており、国や大学も健全な産学連携を推奨しています。

一方で、産学連携を進めた場合、患者さんの利益と研究者や企業等の利益が相反（利益相反）しているのではないかとという疑問が生じる事があります。そのような問題に対して久留米大学では久留米大学利益相反マネジメント委員会の規定を定めています。本研究は規定に基づいて実施されます。

本研究に関する必要な経費は文部科学省科学研究費 挑戦的研究（萌芽）であり、研究遂行にあたって特別な利益相反状態にはありません。

利益相反についてもっと詳しくお知りになりたい方は、下記の窓口へお問い合わせください。

久留米大学利益相反マネジメント委員会

（窓口：産学官連携推進室 電話：0942-31-7917）

8. 研究に関する情報や個人情報の開示について

この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、ご連絡ください。

9. 研究の実施体制について

この研究は以下の体制で実施します。

研究実施場所	久留米大学病院
研究責任者 役割	久留米大学医学部病理学講座 助教 守屋普久子 情報の収集

研究代表施設、 共同研究施設 及び 試料・情報の 提供のみ行う 施設	施設名 / 研究責任者の職名・氏名	役割
	九州大学大学院医学研究院保健学部門 ・教授・樗木晶子	情報の収集
	九州大学持続可能な社会のための決断科学センター ・准教授・錦谷まりこ	解析
	九州大学大学院医学研究院基礎医学部門 ・特任助教・伊豆倉理江子	解析
	九州大学病院メディカルインフォメーションセンター・教授・中島直樹	解析
	九州大学病院消化管外科・助教・永吉絹子	解析
	佐賀大学医学部生体構造機能学講座・教授・城戸瑞穂	情報の収集
	福岡大学病院 医学教育推進講座・教授・安元佐和	情報の収集
	産業医科大学産業医実務研修センター・川波祥子	情報の収集
	福岡女学院看護大学看護学部・教授・藤野ユリ子	解析
	札幌市立大学看護学部・講師・武富貴久子	解析

10. 相談窓口について [研究計画書2.実施体制(事務局)]

この研究に関してご質問や相談等ある場合は、事務局までご連絡ください。

久留米大学 (相談窓口)	久留米大学医学部病理学講座 助教 守屋普久子 連絡先：〔TEL〕 0942-31-7546 〔FAX〕 0942-32-0905 メールアドレス：moriya_fukuko@kurume-u.ac.jp
事務局 (相談窓口)	担当者：九州大学大学院医学研究院保健学部門 教授 樗木晶子 連絡先：〔TEL〕 092-642-6713 〔FAX〕 092-642-6713 メールアドレス：chishaki@hs.med.kyushu-u.ac.jp